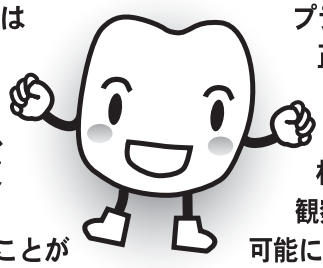
「できるだけ削らない」
むし歯治療を目指しています!!

今までの歯科治療では、むし歯に侵された部分を大きく切除し、詰め物を入れるために修復材料に合わせて健康な歯まで削ってしまうという方法が取られてきました。しかし、現在では プラークコントロールやフッ素による歯の強化等を 正しく行うことで、初期のむし歯なら、進行中の むし歯でも抑制できることがわかりました。また、 従来のように大きく歯を削らなくてもよい修復 材料が開発され、必要以上に歯を削らずに、経過を 観察して歯の再石灰化を促す歯質保存的な治療を行うことが 可能になりました。



当医院ではこのようなミニマルインターベンション（Minimal Intervention: 最小の侵襲）という考え方を積極的に取り入れた治療を行っています。

少しでも多く自分の歯を残すために

一度歯を削ってしまうと、削った部分が大きければ大きいほど歯が弱くなり、いずれは再発と修復を繰り返すようになってしまいます。また、審美的な面でも本当の自分の歯に勝るものはありません。少しでも多く歯を残す事は、私達歯科スタッフだけの努力だけでは不可能です。皆さんの日頃の予防に対する姿勢が何より大切です。

自分の口腔状態を正しく把握しましょう

予防やむし歯の進行の抑制は、お口の中の状況を正確に把握することから始まります。むし歯になりやすい体質なのか、唾液の量はどうか、お口の中の細菌の状況はどうかなどを検査し、一人ひとりに合った口腔のコントロールをしていきます。

定期診査を忘れずに！

家庭でのプラークコントロールと定期的な歯科医院でのチェックとケアを欠かさず、１本でも多く自分の歯を残しましょう。

© COMNET.Co.,LTD.

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

5月号 2009年

今年の桜はいかがでしたか？

今年度は、葛飾区歯科医師会の理事、葛飾区学校歯科医会の専務理事、日本大学歯学部葛飾支部の専務理事と３月の総会から始まり、多忙な日々を院長は送っています。体調に気をつけながら頑張りたいと思います。

先日、某幼稚園の歯科健康診断に行って参りました。昨年までは、某保育園の健診もしていました。比べて分かったのは、家庭で過ごす時間が長い幼稚園児の方がむし歯が多かったように感じたことです。お家にいれば、間食も増えてしまうのでしょう。予防指導でお話ししているように糖質の総摂取量ではなく、摂取頻度（お口を通過する回数）です。むし歯は予防できる病気なのですから、食生活習慣を見直し予防して行きましょう。

ゴールデンウィークから始まり、会社の行事、学校行事なども多い時期です。体調管理に気をつけていただきたいと思います。また、予約のうっかり忘れにもくれぐれもご注意ください。３０分以上の予約時間をとっている当医院のシステムでは、急なキャンセルがあると非常に辛いです。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日変更のお知らせ

・５月23日（土）午後休診いたします
医院設備メインテナンスのため

こみや歯科 ☎ 03-5699-8888
〒125-0041　葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F
「インターネット予約確認サービス URL」 http://www.dent-s.net/komiya/
ホームページアドレス http://www.wahaha.gr.jp　E-mail dental@wahaha.gr.jp